

2023年1月からの入力項目追加のお知らせ

生殖補助医療実施ご施設
実施責任者各位

平素 日本産科婦人科学会のART症例登録システムへの体外受精実施症例の登録にご協力ありがとうございます。
ございます。

2023年1月からART症例登録システムの入力項目に追加がありますのでお知らせいたします。

2022年4月からART診療への医療保険導入が開始されました。日本産科婦人科学会では、保険診療と自由診療の実施数に関するデータは、日本国内のART診療の状況を把握する上で重要性が高いと判断いたしました。

それに伴い、以下の通り、保険診療と自由（自費）診療のいずれで実施したのかを入力する項目を新たに設けることといたしました。この追加項目の入力は**必須入力とはしておりませんが、2023年1月以降に実施された症例については、是非入力を実施いただきたい**と考えております。

ご留意いただきたい点として、今回の変更に伴い、2021年、2022年、2023年それぞれの入力画面がすべて、現在の画面から更新後の項目が追加された画面に変更となります。しかし、**2021年、2022年分の症例については本項目の入力は不要**です。

本ART症例登録システムのデータは日本国内におけるART診療の状況を把握する重要な基盤となっております。今後とも各ご施設でのご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上についてご了解のほどお願いいたします。

以上

日本産科婦人科学会 臨床倫理監理委員会 委員長 三上 幹男
登録・調査小委員会 委員長 片桐由起子

【2023年1月からの追加項目の詳細】

治療から妊娠までのページに下記の項目が追加となります。

1	患者識別No. (必須)	※貴施設の患者識別番号のみ入力してください <特定不妊治療費助成制度を利用した自治体の都道府県名等の入力箇所は【2.特定不妊治療費助成制度の利用】に移しました> <input type="text"/>
2'	実施費用の区分	※採卵、体外受精、胚移植の一連の実施の一部もしくは全てを保険診療で実施した場合は保険診療を選択してください。 一連の実施の全てを自由診療で実施した場合は自由診療を選択してください。 <input type="radio"/> 1保険診療 <input type="radio"/> 2自由診療 <input type="button" value="clear"/>
2	特定不妊治療費助成制度の利用 (必須)	<input type="radio"/> 1利用 <input type="radio"/> 2利用せず <input type="radio"/> 3保留 ※制度を利用した自治体を選択してください <input type="text"/>
3	治療周期開始時の妻の満年齢 (必須)	<input type="text"/> 歳

【2023年1月からの新たな追加項目】2021年、2022年分の症例については本項目の入力は不要ですが、2023年1月以降に実施された症例については、入力をお願いいたします。